

各行政分野の課題（案）及び目指すべき方向性（案）

第2分科会

【行政分野】

子育て支援

文化

スポーツ

市民協働

その他

第1回分科会での審議を踏まえて事務局で整理した「各行政分野の課題（案）」及び

その課題（案）を踏まえて事務局で整理した「目指すべき方向性（案）」の見方

【行政分野：男女共同参画】	各行政分野の課題（案）及び目指すべき方向性（案）【第3分科会】														
これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部局から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】												
【男女共同参画】															
①今後の課題															
<p>○引き続き男女共同参画意識の醸成を進めていくとともに、職場等における男女共同参画への理解を促進し、女性の一層の社会参画を図っていく必要があります。</p>	<p>○男女共同も良いが、女性の社会進出によって晩婚化の実態も出てきている。少子化にもつながるので、PRの仕方を考える必要がある。 ⇒【男女共同を否定するものではなく、周知の仕方についてのアドバイスなので、課題には反映させない。】</p>	<p>○引き続き男女共同参画意識の醸成を進めていくとともに、職場等における男女共同参画への理解を促進し、女性の一層の社会参画を図っていく必要があります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【市民意識調査結果（速報値）】 問13-④ 「市では、「青森市男女共同参画推進条例」を制定し、本年4月に施行しましたが、あなたは、男女共同参画の環境・意識が職場や家庭に浸透していると思いますか」</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1. 大いにそう思う</td> <td style="text-align: right;">[2.2%]</td> </tr> <tr> <td>2. どちらかといえばそう思う</td> <td style="text-align: right;">[9.4%]</td> </tr> <tr> <td>3. 普通</td> <td style="text-align: right;">[32.9%]</td> </tr> <tr> <td>4. あまりそう思わない</td> <td style="text-align: right;">[40.8%]</td> </tr> <tr> <td>5. 全くそう思わない</td> <td style="text-align: right;">[13.4%]</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td style="text-align: right;">[1.3%]</td> </tr> </table> <p>⇒上記、課題（案）に包含</p> </div>	1. 大いにそう思う	[2.2%]	2. どちらかといえばそう思う	[9.4%]	3. 普通	[32.9%]	4. あまりそう思わない	[40.8%]	5. 全くそう思わない	[13.4%]	無回答	[1.3%]	<p>【男女共同参画の推進】 ○全ての人が互いに支え合いながら対等に参画できる、男女共同参画社会の形成を促進します。【市民部】</p>
1. 大いにそう思う	[2.2%]														
2. どちらかといえばそう思う	[9.4%]														
3. 普通	[32.9%]														
4. あまりそう思わない	[40.8%]														
5. 全くそう思わない	[13.4%]														
無回答	[1.3%]														
<p>【第1回分科会で提示した課題（案）】 ○後期基本計画の各施策のフォローアップで整理した課題・環境変化を行政分野ごとにまとめて記載しています。</p>	<p>【第1回分科会での委員からの御意見】 ○第1回分科会での委員からの御意見の内、課題に反映させた御意見を要約して記載しています。 ○なお、右の課題（案）に反映させた部分を下線で記載しています。</p>	<p>【第1回分科会での御意見を踏まえて修正・整理した課題（案）】 ○第1回分科会での委員からの御意見を踏まえて事務局において修正・整理した課題（案）を記載しています。 ○なお、修正・追加した部分を下線で記載しています。</p> <p>【審議①で議論していただく部分です】</p>	<p>【課題（案）から整理した目指すべき方向性（案）】 ○第1回分科会での御意見を踏まえて修正・整理した課題（案）を基に、事務局で整理した目指すべき方向性（案）を記載しています。</p> <p>【審議②で議論していただく部分です】</p>												
②踏まえるべき環境変化															
<p>○「青森市男女共同参画推進条例」の施行（平成30年4月1日）</p>															

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部署から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案）（下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案）【事務局案】										
【子育て支援】													
①今後の課題													
<p>○出生数が減少している中、安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援が必要となっています。</p> <p>○女性の社会進出や夫婦共働き世帯の増加により、保育需要が年々高まっていることから、引き続き保育所等の利用定員の増加などに取り組んでいく必要があります。</p>	<p>○キャリア教育や特別支援にも言えることだが、切れ目のない子育て支援ということであれば、生まれてから学童期くらいまで、管轄で行くと中学校くらいまで、市の組織が連携しながら支援していくことが求められる。</p> <p>⇒【今後、取組として具体化していく際に考慮】</p> <p>○この4年間で、出生数はどんどん減っていて、一昨年初めて2千人を切ってしまった。統計データを見ても、2千人に戻っていくのはかなり厳しいと思う。</p> <p>⇒【市で整理した課題に文言追加】</p> <p>○せっかく保育所等の利用定員を増やしても、将来的に定員割れの状態が出てくる。</p> <p>⇒【市で整理した課題の文言修正】</p>	<p>○出生数が減少している中、安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援が必要となっています。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【市民意識調査結果(速報値)】問8-④ 「あなたは、子育て親子の交流の場の提供、子育てに関する相談など、様々なかたちで育児支援を行う施設である「子育て支援センター」、「地域子育て支援センター」、駅前庁舎2階にリニューアルしたつどいの広場「さんぽほ」のうちいずれかを知っていますか」</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 名称も内容もよく知っている</td> <td>[4.8%]</td> </tr> <tr> <td>2. 名称も内容も多少知っている</td> <td>[12.8%]</td> </tr> <tr> <td>3. 名称だけは知っている</td> <td>[42.9%]</td> </tr> <tr> <td>4. 名称も内容も知らない(聞いたことがない)</td> <td>[38.4%]</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>[1.1%]</td> </tr> </table> </div> <p>○出生数が減少し続けている一方、女性の社会進出や夫婦共働き世帯の増加により、保育需要が年々高まっていることから、引き続き保育需要に応じた受け皿の確保に努めていく必要があります。</p>	1. 名称も内容もよく知っている	[4.8%]	2. 名称も内容も多少知っている	[12.8%]	3. 名称だけは知っている	[42.9%]	4. 名称も内容も知らない(聞いたことがない)	[38.4%]	無回答	[1.1%]	<p>【切れ目のない子育て支援の充実】</p> <p>○安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目がなく、多様なニーズに応じたきめ細やかな子育て支援を行います。</p> <p>【子ども支援の充実】</p> <p>○身近な地域の中で安全・安心に過ごすことのできるよう子ども支援を行います。</p>
1. 名称も内容もよく知っている	[4.8%]												
2. 名称も内容も多少知っている	[12.8%]												
3. 名称だけは知っている	[42.9%]												
4. 名称も内容も知らない(聞いたことがない)	[38.4%]												
無回答	[1.1%]												
<p>○核家族化や、女性の社会進出、夫婦共働き世帯の増加などにより、子どもを安心して預けることのできる場所の需要が年々高まってきていることから、引き続き子どもが身近な地域の中で安全・安心に過ごすことのできる「子どもの居場所づくり」に取り組んでいく必要があります。</p>	<p>○平成27年度から放課後児童会や放課後子ども教室の箇所数及び利用児童数が増えているが、これらをどう活性化し、どう膨らませていくかという課題があげられていない。</p> <p>⇒【市で整理した課題に包含】</p>	<p>○核家族化や地域コミュニティの希薄化などにより、家庭での子育てや地域での見守り機能が低下していることから、引き続き子どもが身近な地域の中で安全・安心に過ごすことのできる「子どもの居場所」の確保に取り組んでいく必要があります。</p> <p>○少子化が進行する中で、子どもたちの生活体験や体験活動が不足していることから、心を育む指導や体験活動の充実が求められています。</p>	<p>○子どもが自ら考え、主体的に活動できる環境づくりを進めます。</p>										
②踏まえるべき環境変化													

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部局から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】
【子育て支援】			
①今後の課題			
<p>○学校施設の老朽化が進行していることから、児童生徒が安全で快適に教育を受けられる環境づくりを進めていく必要があります。</p> <p>○今後、全面実施される新学習指導要領において、情報活用能力の育成が求められています。</p>	<p>○過去に小規模校をどうするかという問題があり、現場にいる子どもたちや、子どもを育てている親は、大きいところで育てたいと思っていたようだが、地域住民等の反対があり立ち消えになってしまった。小規模の小学校の良さがあるのかもしれないが、中学校に入ったとき、ものすごいギャップが生まれるので、少子化ということを考えて、学校の統廃合等を思い切ってやってもいいのではないか。</p> <p>○学校でも今まで6学年で1万4千人くらいだったものが、1万人を切る状況が見えてくる。そうなってくると、行政区の面積や町内会が広いなかで、学校の統廃合等の課題はもっともって出てくる。</p> <p>⇒【上記2つをまとめて、市の課題として整理】</p>	<p>○学校施設の老朽化が進行していることから、児童生徒が安全で快適に教育を受けることができる環境づくりを進めていく必要があります。</p> <p>○少子化を背景に児童生徒が減少している中、子どもが一定の集団の中で、多様な活動を通じて「生きる力」を育む教育環境づくりを進めていく必要があります。</p> <p>○今後、全面実施される新学習指導要領において、情報活用能力の育成が求められています。</p>	<p>【教育環境の整備】</p> <p>○少子化を背景とした児童生徒の減少など、学校を取り巻く状況の変化に対応しながら、安全・快適で質の高い教育を受けることができる教育環境づくりを進めます。</p>

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部局から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】
【子育て支援】			
①今後の課題			
<p>○施策の指標について、「学習状況調査の県平均と正答率との差（小学校5年生・中学校2年生）」は、年度において、指標値に増減があることから、今後も、子どもたちに学ぶ喜びを体験させ、確かな学力を身に付けさせるため学習指導の推進を図り、学力向上に努めていく必要があります。</p>	<p>○少子化の進展による子どもの減少等から青森市が脱却しながら、青森市では生まれてから教育期に至るまで、みんなで支えていて、生まれ育ちやすい街にしていくというのが、計画の中に入っていないと人口減少は歯止めが利かない。</p> <p>○福祉をみんなで支えるように、教育もみんなで一緒にやらないといけない。</p> <p>○おそらく第2分科会で扱う分野は、縦割りにできない。福祉分野を例にすると、高齢者支援は福祉分野だが、高齢者のごみ捨て支援は福祉分野ではない。ごみ屋敷とか。</p> <p>○高齢者が住んでいて、そこにごみがたくさんあったら誰が捨てるのかとなれば、福祉の分野を超えていく。今そういう時代に来ていて、包括支援というものが必要になっている。</p> <p>○松戸市のすぐやる課のような総合行政的なものがある一方で、多様化していく住民のニーズに対し、行政はどういうふうに答えていくか。従来の縦割りだけでは行かない部分、また、民間が担わない部分を共生社会でみんなで担っていくなど、地域を愛する、郷土を愛する心をみんなで育んでいかなくてはならない。</p> <p>○こういったことを新しい国の動きなどと接続しながら、計画の中に盛り込んだらどうか。</p> <p>⇒【上記6つをまとめて、市の課題として整理】</p>	<p>○施策の指標について、「学習状況調査の県平均と正答率との差（小学校5年生・中学校2年生）」は、年度において、指標値に増減があることから、今後も、子どもたちに学ぶ喜びを体験させ、確かな学力を身に付けさせるため学習指導の推進を図り、学力向上に努めていく必要があります。</p> <p>○<u>子どもを取り巻く環境変化により、学校は様々な課題を抱える中で、地域全体で子どもの学びや成長を支えていくことが求められていることから、学校・家庭・地域が一体となって、子どもを育む体制を構築する必要があります。</u></p>	<p>【教育活動の充実】</p> <p>○子どもたちの確かな学力・豊かな人間性・健やかな体など「生きる力」の育成を図るため、学校・家庭・地域が一体となって、子どもを育む<u>環境づくりを進めます。</u></p>

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部局から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】
【子育て支援】			
①今後の課題			
<p>○不登校から復帰した中学生の割合は目標値を上回っているものの、不登校から復帰した小学生の割合は目標値を下回っており、今後も引き続き、複雑化、多様化するいじめや問題行動、不登校などの諸問題を抱える児童生徒や保護者に対する支援体制を強化し、一人一人の抱えている不安や悩みに対して、適切に対応する必要があります。</p>	<p>○「教育活動の充実」について、今、学校教育という部分では、幼稚園や、幼保連携型は、就学前の就学前教育といわれ、新制度の中では、幼児期の学校教育という位置づけになっている。幼稚園や幼保連携型は、教育環境の向上という面で、「生きる力の基礎を培う」役割を持っている教育施設であるため、幼稚園や保育所と小学校の円滑な接続を今後の課題として入れていかななくてはならない。</p> <p>○「教育振興基本計画」にも「青森市子ども総合プラン」にも位置づけていながら幼稚園とか保育所とかの小学校への円滑な接続が、全市的に実現していない。</p> <p>○円滑な接続については、小学校の新学習指導要領に記載されており、昨年の3月の末に告示化されて施行が32年であり、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、「保育所保育指針」の方は、同じく去年の3月で告示化されて、平成30年から施行で2年ずれる。小学校との接続は、学習指導要領の中にも記載されているので、課題としていくべき。</p> <p>○小学校の新学習指導要領でもそうだが、「学びに向かう力」も含めて、小学校との接続のところは青森市の計画の中にも意識して課題として入れ込むべきだと思う。</p> <p>⇒【上記4つをまとめて、市の課題として整理】</p>	<p>○<u>教育段階ごとの学びの特徴を踏まえつつ、幼小、小中、中高の円滑な接続を図ることで、子どもの発達や学びの連続性を確保する必要があります。</u></p> <p>○不登校から復帰した中学生の割合は目標値を上回っているものの、<u>不登校から復帰した小学生の割合は目標値を下回っており、今後も引き続き、多様化・複雑化するいじめや問題行動、不登校などの諸問題を抱える児童生徒や保護者に対する支援体制を強化し、一人一人の抱えている不安や悩みに対して、適切に対応する必要があります。</u></p>	<p>【就学指導・支援の充実】</p> <p>○<u>幼小、小中、中高間の子どもの発達や学びの連続性を確保するための教育活動の充実を図ります。</u></p> <p>○多様化・複雑化する諸問題を抱える子ども・保護者への適切な対応の<u>充実</u>を図るなど、すべての子どもたちが安心して<u>学ぶことができる体制の充実</u>を図ります。</p>

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部局から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】												
<p>【子育て支援】</p> <p>①今後の課題</p> <p>○市民センターや公民館、図書館が主催する講座などで誰もが気軽に学ぶことができる環境の充実を図る必要があります。</p> <p>○青少年を取り巻く環境のグローバル化に青少年自らが対応できるように、国際社会の一員であることの自覚を促す取組を進める必要があります。</p> <p>○青少年の健全育成のため、様々な体験活動の充実や、学校、社会教育関係団体等と連携した学びの機会を提供していく必要があります。</p> <p>○近年、ネット上やSNS上で増加している個人の誹謗中傷などの悪質な書き込みや青少年の健全育成に有害な情報などに対し、学校や警察などの関係機関と連携して対応するなど、青少年を守る取組を推進する必要があります。</p>		<p>○市民センター・公民館が主催する講座や図書館などで誰もが気軽に学ぶことができる環境の充実を図る必要があります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【市民意識調査結果（速報値）】 問9-③ 「あなたは、青森市は誰もが興味や必要に応じて、図書館や講座などで学ぶ環境が整っていると思いますか」</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1. 大いにそう思う</td> <td style="text-align: right;">[2.7%]</td> </tr> <tr> <td>2. どちらかといえばそう思う</td> <td style="text-align: right;">[23.3%]</td> </tr> <tr> <td>3. どちらともいえない</td> <td style="text-align: right;">[36.5%]</td> </tr> <tr> <td>4. あまりそう思わない</td> <td style="text-align: right;">[31.5%]</td> </tr> <tr> <td>5. 全くそう思わない</td> <td style="text-align: right;">[4.8%]</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td style="text-align: right;">[1.1%]</td> </tr> </table> <p>⇒上記、課題（案）に包含</p> </div> <p>○青少年を取り巻く環境のグローバル化に青少年自らが対応できるように、国際社会の一員であることの自覚を促す取組を進める必要があります。</p> <p>○青少年の健全育成のため、様々な体験活動の充実や、学校、社会教育関係団体等と連携した学びの機会を提供していく必要があります。</p> <p>○近年、インターネット上やSNS上で増加している個人の誹謗中傷などの悪質な書き込みや青少年の健全育成に有害な情報などに対し、学校や警察などの関係機関と連携して対応するなど、青少年を守る取組を推進する必要があります。</p>	1. 大いにそう思う	[2.7%]	2. どちらかといえばそう思う	[23.3%]	3. どちらともいえない	[36.5%]	4. あまりそう思わない	[31.5%]	5. 全くそう思わない	[4.8%]	無回答	[1.1%]	<p>【社会教育の推進】</p> <p>○市民誰もが興味や必要に応じて、知識や技術を学び活かすための学習環境の充実を図ります。</p> <p>【社会教育の推進】</p> <p>○国際社会の一員である自覚を持ったグローバルな人材を育成するとともに、学校・家庭・地域や関係団体等が連携し、青少年の健全育成を支援します。</p>
1. 大いにそう思う	[2.7%]														
2. どちらかといえばそう思う	[23.3%]														
3. どちらともいえない	[36.5%]														
4. あまりそう思わない	[31.5%]														
5. 全くそう思わない	[4.8%]														
無回答	[1.1%]														
<p>②踏まえるべき環境変化</p> <p>○新学習指導要領の全面実施（小学校：平成32年度～、中学校：平成33年度～）</p>															

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部局から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】												
【文化】															
①今後の課題															
<p>○身近な場所で気軽に文化を体験できる機会を充実させるなど、市民が文化と身近に触れ合うことができる環境づくりに努める必要があります。</p>		<p>○身近な場所で気軽に文化芸術を体験できる機会を充実させるなど、市民が文化芸術と身近に触れ合うことができる環境づくりに努める必要があります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【市民意識調査結果（速報値）】 問9-② 「あなたは、青森市は音楽、美術などの様々な芸術や文化と身近に触れあう環境が整っていると もいますか」</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 大いにそう思う</td> <td>[1.7%]</td> </tr> <tr> <td>2. どちらかといえばそう思う</td> <td>[21.4%]</td> </tr> <tr> <td>3. どちらともいえない</td> <td>[33.7%]</td> </tr> <tr> <td>4. あまりそう思わない</td> <td>[35.4%]</td> </tr> <tr> <td>5. 全くそう思わない</td> <td>[6.5%]</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>[1.2%]</td> </tr> </table> <p>⇒上記、課題（案）に包含</p> </div>	1. 大いにそう思う	[1.7%]	2. どちらかといえばそう思う	[21.4%]	3. どちらともいえない	[33.7%]	4. あまりそう思わない	[35.4%]	5. 全くそう思わない	[6.5%]	無回答	[1.2%]	<p>【文化活動の推進】 ○市民が文化・芸術と身近に触れあうことができる環境づくりを進めます。</p>
1. 大いにそう思う	[1.7%]														
2. どちらかといえばそう思う	[21.4%]														
3. どちらともいえない	[33.7%]														
4. あまりそう思わない	[35.4%]														
5. 全くそう思わない	[6.5%]														
無回答	[1.2%]														
<p>○文化を継承する後継者不足の深刻化が懸念されており、文化に対する子どもたちの関心を喚起するなど、後継者の育成を推進し、ねぶたや版画などの文化資源を次代に継承していく必要があります。</p>		<p>○<u>ねぶたや版画とともに、後継者不足の深刻化が懸念されている民俗芸能等の文化資源を次世代に継承していく</u>必要があります。</p>	<p>【文化資源の継承】 ○文化資源に対する子どもたちの関心を喚起するとともに、後継者の育成を図り、<u>次世代へ継承</u>します。</p>												

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部局から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】																						
<p>【文化】</p> <p>①今後の課題</p> <p>○世界に誇る縄文遺跡などの史跡や出土品、歴史民俗資料などを次代へ継承するため、適正な保存管理を推進し、これら貴重な文化財が持つ普遍的な価値を国内はもとより世界に向けて積極的に情報発信していく必要があります。</p>	<p>○博物館が文部科学省管轄から外れることになったが、もっと観光やインバウンド対策として、文化財や文化資産を活用して人を呼び込めと、国の方針が変わってきている。郷土が持っている<u>伝統芸能や遺跡などが観光資源になり得ると文部科学省生涯学習政策局の担当者から説明を受けたことがある。</u>⇒【市の課題として整理】</p>	<p>○世界に誇る縄文遺跡などの史跡や出土品、歴史民俗資料などを次代へ継承するため、適正な保存・管理を行っていくとともに、これら貴重な文化財が持つ普遍的な価値について、国内はもとより世界に向けて積極的に情報発信していく必要があります。</p> <p>○<u>文化財は、地域の誇りであるとともに観光振興に欠かせない貴重な資源であることから、今後は観光資源として活用することが求められています。</u></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【市民意識調査結果（速報値）】 問7-② 「あなたが本市を訪れるかたにお勧めしたい（または案内したい）と思う、観光スポットはどれですか」 ※該当するものをすべて選択（回答者1,602人）</p> <table border="0"> <tr><td>1. ねぶたの家ワ・ラッセ</td><td>[70.7%]</td></tr> <tr><td>2. 八甲田丸</td><td>[16.0%]</td></tr> <tr><td>3. 三内丸山遺跡</td><td>[57.5%]</td></tr> <tr><td>4. <u>小牧野遺跡</u></td><td>[4.6%]</td></tr> <tr><td>5. 八甲田</td><td>[54.6%]</td></tr> <tr><td>6. 酸ヶ湯温泉</td><td>[46.1%]</td></tr> <tr><td>7. 浅虫温泉</td><td>[23.1%]</td></tr> <tr><td>8. 道の駅「なみおか」アップルヒル</td><td>[16.9%]</td></tr> <tr><td>9. <u>浪岡城跡</u></td><td>[3.4%]</td></tr> <tr><td>10. <u>中世の館</u></td><td>[3.6%]</td></tr> <tr><td>11. その他</td><td>[7.3%]</td></tr> </table> <p>※下線は市有の文化財及び関連施設</p> <p>⇒上記、課題（案）に包含</p> </div>	1. ねぶたの家ワ・ラッセ	[70.7%]	2. 八甲田丸	[16.0%]	3. 三内丸山遺跡	[57.5%]	4. <u>小牧野遺跡</u>	[4.6%]	5. 八甲田	[54.6%]	6. 酸ヶ湯温泉	[46.1%]	7. 浅虫温泉	[23.1%]	8. 道の駅「なみおか」アップルヒル	[16.9%]	9. <u>浪岡城跡</u>	[3.4%]	10. <u>中世の館</u>	[3.6%]	11. その他	[7.3%]	<p>【文化財の保存・活用】</p> <p>○文化財を適正に保存・管理していくとともに、観光資源として活用を図ります。</p>
1. ねぶたの家ワ・ラッセ	[70.7%]																								
2. 八甲田丸	[16.0%]																								
3. 三内丸山遺跡	[57.5%]																								
4. <u>小牧野遺跡</u>	[4.6%]																								
5. 八甲田	[54.6%]																								
6. 酸ヶ湯温泉	[46.1%]																								
7. 浅虫温泉	[23.1%]																								
8. 道の駅「なみおか」アップルヒル	[16.9%]																								
9. <u>浪岡城跡</u>	[3.4%]																								
10. <u>中世の館</u>	[3.6%]																								
11. その他	[7.3%]																								
<p>②踏まえるべき環境変化</p>																									

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部署から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】																
【スポーツ】																			
①今後の課題																			
<p>○スポーツを通じた交流促進等による地域活性化を推進していくため、スポーツに参加しやすい環境づくりや、市民のスポーツ意欲の高揚を図る必要があります。</p> <p>○積雪寒冷地である本市の特性と各種ウィンタースポーツの拠点が整備されている優位性を活かし、市民のみならず国内外からの誘客や、各種大会の誘致などにより活性化を図る必要があります。</p>	<p>○小学校中学校も児童数生徒数が減っている中、学校における部活動は難しくなっているため、地域のスポーツクラブなどに行く。</p> <p>○ウィンタースポーツをある程度身近なところで出来るようにしていく配慮は大切。</p> <p>○設備（校庭でのスキーのスロープ）があっても、管理する人がその場にはないと、休みの日は勝手に使えない。土日でも誰か見守る人がいれば、学校の校庭に雪を集めて、うまく利用することはやった方がいい。</p> <p>○雪が少ないとスキーのスロープ自体が作れない。寒いのに関わらず雪がないとウィンタースポーツができない状態になったり、難しい問題だ。</p> <p>⇒【上記4つを踏まえて、市の課題を再整理】</p>	<p>○<u>市民の健康づくりと交流促進のため、各種ウィンタースポーツの拠点が整備されているなど、本市の特性を活かし、スポーツに参加しやすい環境づくりなどを通じて、市民のスポーツ意欲の高揚を図る必要があります。</u></p> <p>○<u>スポーツを通じた地域活性化に向けて、市民のみならず国内外からの誘客や各種大会などを通じて、交流促進を図る必要があります。</u></p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【市民意識調査結果（速報値）】 問10-② 「あなたは、この1年間に、どれぐらいの頻度で運動（ウォーキング・ジョギングを含む）やスポーツ（登山・トレッキングを含む）を行いましたか」</p> <table border="0"> <tr><td>1. 週に3日以上</td><td>[12.4%]</td></tr> <tr><td>2. 週に1～2日</td><td>[19.7%]</td></tr> <tr><td>3. 月に1～3日</td><td>[11.2%]</td></tr> <tr><td>4. 3か月に1～2日</td><td>[3.4%]</td></tr> <tr><td>5. 年に1～3日</td><td>[6.7%]</td></tr> <tr><td>6. 運動やスポーツを行っているが、 どれぐらいの頻度かわからない</td><td>[8.7%]</td></tr> <tr><td>7. 運動やスポーツを行っていない</td><td>[39.5%]</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>[1.4%]</td></tr> </table> <p>⇒「健康づくり分野」の課題に包含</p> </div>	1. 週に3日以上	[12.4%]	2. 週に1～2日	[19.7%]	3. 月に1～3日	[11.2%]	4. 3か月に1～2日	[3.4%]	5. 年に1～3日	[6.7%]	6. 運動やスポーツを行っているが、 どれぐらいの頻度かわからない	[8.7%]	7. 運動やスポーツを行っていない	[39.5%]	無回答	[1.4%]	<p>【地域スポーツの促進】</p> <p>○スポーツ人口の増加に向け、年間を通じて、市民誰もがスポーツに親しめる環境づくりを進めます。</p> <p>【スポーツによる地域活性化】</p> <p>○<u>地域活性化に向けて、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ります。</u></p>
1. 週に3日以上	[12.4%]																		
2. 週に1～2日	[19.7%]																		
3. 月に1～3日	[11.2%]																		
4. 3か月に1～2日	[3.4%]																		
5. 年に1～3日	[6.7%]																		
6. 運動やスポーツを行っているが、 どれぐらいの頻度かわからない	[8.7%]																		
7. 運動やスポーツを行っていない	[39.5%]																		
無回答	[1.4%]																		
<p>○市民のスポーツへの関心を高めるため、官民連携による選手・指導者の育成強化により競技力の向上を図ることが必要です。</p>		<p>○市民のスポーツへの関心を高めるとともに<u>スポーツ人口の増加を図るため、官民連携による選手・指導者の育成強化により競技力の向上を図ることが必要です。</u></p>	<p>【競技力の向上】</p> <p>○競技力の向上を図るため、官民連携により、選手の育成と指導者の確保を進めます。</p>																
②踏まえるべき環境変化																			
<p>○東京オリンピック・パラリンピックの開催（平成32年）</p> <p>○国民体育大会の青森県開催（平成37年）</p>																			

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部署から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した 目指すべき方向性（案） 【事務局案】								
<p>【市民協働】</p> <p>①今後の課題</p> <p>○選挙権年齢が18歳に引き下げられたことなどから、若年層のさらなる自治意識の高揚を図る必要があります。</p> <p>○市民が情報を得る手段は多様化しており、情報発信の方法を充実させていく必要があります。</p> <p>○年齢等により情報格差が生じる場合があります、配慮した情報発信が必要となります。</p> <p>○町（内）会のみならず、NPOやボランティア団体などの多様な地域団体の活動の重要性や理解を高め、地域コミュニティの活性化を図る必要があります。</p> <p>○多様化・複雑化する地域課題を解決するためには、行政だけでは対応が困難なことから、町（内）会のみならず、様々な活動主体の組織化の支援や、それぞれの主体が連携してまちづくりを進めることができる環境づくりに努める必要があります。</p>	<p>○「選挙年齢が18歳に引き下げられたことなどから、若年層の～」と書かれているが「若年層をはじめ～」と書くべき。成人の投票率も低いいため、大人社会そのものがもう少し自治意識が強くない限りここは実現しない。</p> <p>⇒【市で整理した課題の文言修正・追加】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【市民意識調査結果（速報値）】 問11-② 「あなたは、この1年間に、NPOやボランティア、町（内）会などの社会活動に参加したことがありますか」</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 参加したことがある</td> <td style="text-align: right;">[20.1%]</td> </tr> <tr> <td>2. 参加したいと思っているが、参加したことはない</td> <td style="text-align: right;">[42.2%]</td> </tr> <tr> <td>3. 参加したいと思わない</td> <td style="text-align: right;">[36.6%]</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td style="text-align: right;">[1.1%]</td> </tr> </table> <p>⇒上記、課題（案）に包含</p> </div> <p>○地域づくりに拠点となる学校とか社会福祉協議会、地域包括支援センターとか、エリアを学校区ごとに決めてやっていく必要が生じる。</p> <p>⇒【市で整理した課題に包含】</p> <p>○子ども食堂のような活動をしている者（NPO）に行政が支援するのは市民活動だと思う。</p> <p>⇒【市で整理した課題に包含】</p> <p>○青森県が進めている「青森県型地域共生社会」では、買い物（難民）困難者や足の悪い方や、担い手をどうするかといったことに対し、県民局全部で事業を行っている。そういったことを青森市、たとえば浅虫地区とかでやればよいのでは。</p> <p>⇒【市で整理した課題に包含】</p>	1. 参加したことがある	[20.1%]	2. 参加したいと思っているが、参加したことはない	[42.2%]	3. 参加したいと思わない	[36.6%]	無回答	[1.1%]	<p>○選挙権年齢が18歳に引き下げられたことなども踏まえ、若年層をはじめ、市民のさらなる自治意識の高揚を図る必要があります。</p> <p>○市民が情報を得る手段は多様化しており、情報発信の方法を充実させていく必要があります。</p> <p>○年齢等により情報格差が生じる場合があります、配慮した情報発信が必要となります。</p> <p>○町（内）会のみならず、NPOやボランティア団体などの多様な地域団体の活動の重要性や理解を高め、地域コミュニティの活性化を図る必要があります。</p> <p>○多様化・複雑化する地域課題を解決するためには、行政だけでは対応が困難なことから、町（内）会のみならず、様々な活動主体の組織化の支援や、それぞれの主体が連携してまちづくりを進めることができる環境づくりに努める必要があります。</p>	<p>【適切な情報提供と市民意識高揚】</p> <p>○様々な手段を活用した分かりやすい情報提供に努めるとともに、若年層をはじめ、多くの市民の自治意識の高揚を図ります。</p> <p>【地域の個性を活かしたまちづくり】</p> <p>○若い世代をはじめとした地域活動の担い手の育成を支援するとともに、行政のみならず、多様な主体の連携・協働により、多様化・複雑化する地域課題の解決を図り、地域の個性を活かしたまちづくりを進めます。</p>
1. 参加したことがある	[20.1%]										
2. 参加したいと思っているが、参加したことはない	[42.2%]										
3. 参加したいと思わない	[36.6%]										
無回答	[1.1%]										

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部局から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】
<p>【市民協働】</p> <p>①今後の課題</p> <p>→（その他分野から移動） ○地域の特性を活かした、暮らしやすい地域を形成していくため、地域住民、団体、行政が連携・協力し一体となって地域づくりを進めていく必要があります。</p>	<p>○若い世代の町内会の参加率が低い。</p> <p>○アパートの住人で町（内）会に加入していない人が多く、ごみ出し問題が発生。ごみ置き場が整備され、町（内）会とアパートが共存している町（内）会や、新しい町（内）会でもアパート専用のゴミ置き場を作っているところは対応できているが、対応できていないところが問題。</p> <p>○子供会の機能も低下している。</p> <p>○高齢化が進む中で一番大事なことは、40代の担い手をどうやって育成するかということ。単身世帯、高齢者の一人暮らしが増えてきて、見守りどうするかが問題となってくるとボランティアや学校を巻き込んでいかななくてはいけなくなる。</p> <p>○町（内）会の役員、老人クラブの役員、女性部の役員をほとんど同じ人が担っている。コミュニティの人員はいるが、実際に活動する人となるとかなり厳しい。</p> <p>⇒【上記5つをまとめて、市の課題として整理】</p> <p>○まちづくり協議会を支援する中間支援組織はないのか。利害関係がないため、町内会の役員も意見を言いやすくなる。 行政にはなかなか言いにくいので、ある意味カウンセラーのような組織があったほうがいい。</p> <p>⇒【市で整理した課題に包含】</p>	<p>○<u>地域活動を支える担い手が不足していることから、若い世代をはじめとした地域の担い手を育成・確保する必要があります。</u></p> <p>○地域の特性を活かした、暮らしやすい地域を形成していくため、地域住民、団体、行政が連携・協力し一体となって地域づくりを進めていく必要があります。</p>	
<p>②踏まえるべき環境変化</p> <p>○平成28年6月19日から選挙権年齢が18歳に引き下げられたことや、今後見込まれている成人年齢の引き下げ</p> <p>○市内各大学等の高等教育機関と教育・文化・福祉等各分野にわたる包括連携協定を締結（平成29年10月）</p>			

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部署から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】
【その他】			
①今後の課題			
<p>○地方財政を取り巻く環境が厳しさを増している中、将来にわたって安定した行政サービスを提供していくため、歳出全般について見直しを行うとともに、市経済の発展と雇用の創出による税収確保等に努め、持続可能な財政運営を図る必要があります。</p>		<p>○地方財政を取り巻く環境が厳しさを増している中、将来にわたって安定した行政サービスを提供していくため、歳出全般について見直しを行うとともに、市経済の発展と雇用の創出による税収確保等に努め、持続可能な財政運営を図る必要があります。</p>	<p>【持続可能な財政運営】 ○国の経済財政運営の動向や市の財政状況に留意しながら、持続可能な財政運営を行います。</p>
<p>○市民意識調査で「市民にわかりやすい組織体制が構築され、市民の期待に応えられる職員が確保・育成されている。」に対する「不満・やや不満」の割合が35.7%となっている中で、「職員提案制度における提案数」及び「研修を受講した職員数」の実績値が目標値に達することができていないことから、引き続き目標値の達成に向けて、市民の期待に応えることができる人材の育成・確保と事務・業務の改善・改革に主体的かつ積極的に取り組む組織風土づくりを進めていく必要があります。</p>	<p>○職員の規模に比してあまり専門職を育てていない。</p> <p>○研修を受けて、自分はこういう職務、分野に自分の能力を発揮したいという希望に沿った配置になれば、もう少し研修に積極的に参加すると思う。</p> <p>○研修により、能力を開発し、組織を活性化したいのであれば、専門的な能力を身に付けた人が活かされていく組織の体制を併せて作っていくか、この活性化にはならない。</p> <p>⇒【上記3つを踏まえ、市の課題を再整理】</p>	<p>○多様化・複雑化する市民ニーズや様々な行政課題を的確に捉え、主体的かつ柔軟に対応していくため、市民の期待に応えることができる人材の育成と事務・事業の改善・改革に主体的かつ積極的に取り組む組織風土づくりを進めていく必要があります。</p>	<p>【人材育成の推進】 ○行政課題に的確に対応し、市民の期待に応え、事務・事業の改革・改善に主体的かつ積極的に挑戦する人材の育成と、組織風土づくりを推進します。</p>
<p>○効果的・効率的な行財政運営と市民サービスの向上を図るため、さらなる民間活力の活用に取り組む必要があります。</p>		<p>○効果的・効率的な行財政運営と市民サービスの向上を図るため、さらなる民間活力の活用に取り組む必要があります。</p>	<p>【行財政改革の推進】 ○ICTや身近な公共施設などを有効活用するとともに、民間活力の活用などにより、住民ニーズに対応した行政サービスの効果的・効率的提供を進めます。</p>
<p>○本市において、平成29年度末からマイナポータルを活用したサービス検索・電子申請等の仕組みである、子育てワンストップサービスを開始したところですが、今後においても、行政サービスを利用しやすい環境の充実を図る必要があります。</p>	<p>○マイナンバーのカード化した比率を全国1位とまでは言わないが、そういう目標を立ててはどうか。</p> <p>⇒【市で整理した課題に文言追加・修正】</p>	<p>○<u>マイナンバー制度を積極的に活用するなど、行政サービスを利用しやすい環境の充実を図る必要があります。</u></p>	
<p>○国内外の各都市との交流を通じて獲得した交流人口を、地域の活性化や誘客促進などにつなげていく必要があります。</p>		<p>（追加新規） ○<u>人口減少社会において、地域を活性化し、社会保障や行政サービスを維持していくため、近隣の市町村との連携を進める必要があります。</u></p>	<p>【広域連携の推進】 ○人口減少社会において、地域活力の維持・向上を図るため、生活圈や経済圏が密接に結びつく地域や、共通の資源を持つ近隣地域との広域連携を推進します。</p>
		<p>○<u>国内外における都市間・地域間の連携を深め、経済・文化・観光などさまざまな分野において交流に取り組む必要があります。</u></p>	<p>【国際・国内交流の推進】 ○<u>青函交流をはじめとした国内外の都市や地域との交流を推進します。</u></p>

これまでの総合計画に基づく施策の取組に関して各部局から出された課題と踏まえるべき環境変化	第1回分科会での御意見	分科会での御意見等を踏まえて修正・整理した課題（案） （下線部分：修正・追加箇所）	課題（案）から整理した目指すべき方向性（案） 【事務局案】
<p>【その他】</p> <p>①今後の課題</p> <p>○青森暮らしサポートセンターにおける本市への移住相談件数は年々増加しているものの、相談後に本市へ移住した人数は10人前後と少ないことから、移住希望者に本市への移住を選択してもらえよう、相談体制の強化や効果的な情報発信に取り組む必要があります。</p>		<p>○<u>青森暮らしサポートセンターへの移住相談後に本市への移住を選択してもらえよう、相談体制の強化や効果的な情報発信に取り組む必要があります。</u></p>	<p>【移住対策の推進】</p> <p>○移住希望者に、本市の魅力を発信するとともに、移住に対する不安解消に向けた支援を行い、移住しやすい環境づくりを進めます。</p>
<p>②踏まえるべき環境変化</p> <p>○国の「経済・財政再生計画」において、集中改革期間の最終年度であるH30年度まで、地方一般財源総額をH27年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することとされているが、H31年度以降については現在未定</p> <p>○マイナンバーカードの制度開始（平成28年1月）</p>			